

コミュニティバス改善案説明会(二子地区)2回目

2011年1月24日 13:30~ 二子地区交流センター

前回までのふりかえり

5月実施説明会

公共交通がおかれている状況

- ・65歳以上の交通事故の数は件数の中でも非常に増えていてバスが必要
 - ・岩手県の人口2005年1385千人、2035年には104万人を切ってしまう、345千人これから30年間で人口が減っていく。
 - ・北上市の人口は65歳以上1.4倍から1.5倍に増えていく予想となっている
 - ・60歳以上の女性で免許を持っている方の割合、相去・口内地区の自治協で調査結果、両方合わせても20% 60歳代の方は多いが70、80歳以上は非常に少なくなっている
 - ・男性の平均寿命は78歳。女性の平均寿命は86歳。60歳以上の夫婦の平均年齢差は3歳。日本の平均的な夫婦は、男性より女性が11年間長い生きずる。60歳以上の女性で2割しか免許を持っていない中、男性の運転に頼っていた方も男性が11年間早く亡くなってしまう 生活する上で常に公共交通を必要とする方がもっと増えてくる
 - ・昭和30年から50年間で1/3までバスの運行は落ち、輸送人数も減っている。バスを使いたい方は多い中、実際に使われないとバスとしても経営が成り立たなくなる為、負債線路線は縮小や本数の減少、撤退するので利便性がなくなりもっと使われなくなる。20年間から30年間でバスの取り巻く状況で利便性が悪くなっている
- 持続可能な地域をつくるためにも公共交通は必要であるが、みんなで支えあわないと公共交通は縮退していく状況である。

5月での意見交換の内容

平成21年度は県立中部病院が出来ることで運行ルートを変更。その運行を1年間運行した結果、経費に対し運賃収入は3割をきっていた。

22年度の当初、5地区コミュニティバスをす

ぐ無くすことは考えていないが 同じ内容での運行は難しい。22年度にかけて改善案を検討し、新しい運行方法を考えているという説明をさせて頂いた。

その時の意見交換会で市の税金が7割以上入っている話をしたところ、一部で運賃を上げるべきではという意見もあった。普段使っている方は必要、なくしては困るという意見もあったので、では利便性をできるだけ損なわず維持していくにはどうしたらいいのか?ということで検討してきた。

今年度改善案を検討するにあたり、去年の4月から乗降調査を行い、実際にどう使われているのか?また一般の利用されている方とも意見交換をさせて頂いた。

実際使い方として通院では8時半のバスで行き10時半では時間が短い、次の時間まで待ちきれないなどの意見など伺った。

11月実施説明会

コミュニティバスの乗車の傾向についての報告を行った。

・二子地区で乗る方

9割の方が黒沢尻まで行っている。飯豊の中部病院まで行く方は7%。二子地区の方はまちなかに行く為に使っているのが現状。

・時間帯別

早い便の8時、11時台で乗り、帰りは13時、15時代の便。全体で見ると8割の方が10時と13時の便で帰っている。

・利用者の特性

女性95%、男性5%。女性の利用が多く、70歳以上の方48%、80歳以上は29%。8割が70歳以上の方が使っている傾向。他の地区に比べても高い年齢層が使われている。

・利用目的

通院が52%、買い物40%。9割の方が通院か買い物。市役所や図書館に行く利用よりも生活の為に利用するという傾向。通院も飯豊の中部病院

までより、まちなかの病院に行っていることが二子地区での傾向。

・利用頻度

他の地区では週 2 回使っているのが 4 割程。二子地区では 8 割の方が週 1 回未満の利用の方が割合に多い。

・自宅からバス停までの距離

どの地区でも 5 分以内の方が 7 割。利用率の高い黒岩地区は歩いて 5 分以上の方でも 4 割以上。

・経営はどうなっているのか？

二子地区では収支目標乗降人数 1 日 40 人(20 人の方が乗って降りる)ほどである。今、北上市のコミュニティバスの収支率 3 割きくらい。黒沢尻まで 200 円かかるとし、利用者が 200 円払ったものにプラス税金が 400 円で合計 600 円かかる。北上市では 200 円の利用料に 200 円の税金の補助で運行をめざしている。200 円の運賃に 200 円の税金となるためには二子地区では距離にして全体 11 キロぐらいで 40 人程必要。現状では 21 人、収支率 27%。12,000 円/1 日赤字になっている。

・では、どうしたらいいか？

二子地区は今、二子十文字～川端を通り下川端まで行き、築館 村崎野駅前 中島を通っているが、どこか短くしないと収支が合わないので、ルートの検討をしないといけない。

川端経由交流センターから南へ行くルートだと成田線は毎日運行しており、二子地区の西側の方は週 2 日運行のコミュニティバスよりも成田線を利用した方が 利便性が高いのでこちら側を選択してもらいたいのではないかと考え、築館～村崎野駅前間を通らず 二子地区交流センター前～中島へというルートの変更としました。

前回の意見交換会(1/13)で、築館にまったく通らなくなると困るという意見もありましたが、このルートを変えるとどのくらい乗車するのかというところを再度調査し経営的な部分を考えないといけない。

ルート検討の経緯

二子地区のルート(大門～川端～下川端～田尻～育成会館前～二子地区交流センター～築館～村崎野駅前間)を検討しようと意見をいただく内容

だったが参加者が 2 名の為、決めきれず自治協に相談させて頂いた。

自治協でも 12 月に広報でコミュニティバス改善検討、意見投稿のお知らせなどの協力もして頂いた。

1 月改善提案実施説明会

川端の方を通るだけのルートではどうか。今まで築館も利用は把握しているが、成田線という路線バスが平日毎日運行しており運賃も大きく変わらない。市の税金を 5 割に抑え、地域の人に使ってもらい地域の距離に対して目標人数を達成できるような検討の話をさせて頂いた。二子地区は距離が長い分、目標人数が達成できないので同じルートでは維持していくのが大変。黒岩地区は乗降実績がよく沢目ルートも考えたが、回転場が残念ならなかった。

-スケジュール-

今回の改善は 23 年 4 月以降の実施予定。運輸局申請が 2 ヶ月前に必要で 1 月末までには内容を決めなければならない。(11 月の説明会から話をしていた)

区長さんより築館の件で話があり、この時点でルート変更になる場合 事業者での運行確認、警察で交通安全上の問題確認も必要となる為、非常にスケジュール的に厳しい。

立花の国道 107 号線～降りていくルート(現状生協団地を回るルートで具合が悪くなるという意見のもと)を考えたが、警察側からすれ違う場所がない、事業者側からは川や田んぼののりが高く事故につながる恐れもあり避けることとなった。

ルートに関しては 5 割という受け入れの中で、皆さんの声や地域でどう考えるかを最大限配慮してやってきた。

昨年北上市では公共交通ビジョンということで、今後の公共交通をどう解決していくか? 検討し、適切な規模・適切な運行方法で地域ごとに地域のまちづくりと一緒に公共交通を検討していく方法にし、今年度それをやるにはどうしたらいいのか? を考えている。

利用者にとってはできるだけ近くのバス停、多い本数が希望だと思うが、利便性の高いコースを

検討しなければならないと考えている。二子地区に関しては路線バスも運行している。地域によっては路線バスもコミュニティバスも運行されていない地区もありその辺のバランスもある。

利用者が減り乗りたい人が点在した場合は、今の需要がバスでぎりぎり成り立つところは運行。それ以上の減った場合は、和賀の「のりあいタクシー」や口内の「過疎地輸送運送」などの自治協力で自立して行う運行方法もある。5割で、4本/1日で需要が満たせず、困っている方がいる場合、別の運行方法も検討しなくてはならない。

確認事項

- ・ 今後は定期的に各地区において利用促進を市との協働により実施し、収支率50%を目指す事とする。
- ・ 1年半継続して、収支率が一定基準に満たない場合には抜本的に運行のあり方を見直す
- ・ 運行の見直しには、路線、ダイヤの再検討、料金の値上げ、地域主体の需要に見合った適正規模の支線交通への切り替えを含む

来年度以降の改善提案事項

- ・ 火・木曜日の運行(1日4往復で今まで通り)
- ・ 祝祭日については運休。(平成23年度は1週間のうち2日間運休となる週はないが、平成24年度以降両日運休の場合は木、金運行とする)
- ・ 10時のあと3時間おき 2時間おきに1本。前回の皆さんの意見情報交換や利用実績をみて最後の便が非常に少なかった為、まちなかを中心に考え最終4便目の現状15時30分を1時間早めて14時30分に検討させて頂いた。
- ・ 火・金曜日の終点を県立中部病院前まで(飯下公民館まで行かない)とする。
- ・ 朝1便の更木地区へ向かう便は減便。
- ・ 築館～村崎野駅前間を通らず、交流センター前～中島へというルート変更。
- ・ 今まで中央図書館を通過していたところを、市役所から北上し陸橋を下り東北電力の辺りを通り西に進み(大内整形外科病院や他の病院が並んでいるため)白百合橋の方に入って行くルートへの変更。
- ・ 運賃は各地区の意見をふまえて「市街地ゾーン内

利用の場合のみ150円」とする。他地域は現行通り

- ・ 下村発第1便は北上北中学校通学対応を考えて、「大門～川端」フリー区間にて時間調整することとする

意見交換

Q1：今日初めて資料を見た方が多い、7割、5割が税金の具体的な金額や変更提案ルートを指さししていただきたい。

A1：平成21年度の運行実績で1年間の運行経費が1,100万円。運賃収入が300万円程度。

800万円程が赤字。その分を運行費補助。

短縮ルートですが、「二子交流センター前～村崎野駅前に行き、また同じルート村崎野駅前～二子交流センター前を戻り、中島へ」というルート、「川端～下川端～田尻」のルートも、「川端～下川端方面へは行かず、川端～中央橋を右折し二子地区交流センター前」に向かう2ルートです。他の地区と運行実績は変わらなくても、二子地区を回る距離がかなり違う。変更ルートにした場合運行経費約200万円程度経費が上がる。但し変更ルートにした場合でも、今までの乗降数では目標の50%というのは難しい。

Q2：二子更木線は、更木から県立中部病院までということ？

A2：これまでは週4日、飯豊の奥 飯下公民館まで運行していたが、乗降調査結果 飯豊の奥の方まで行く方は3%未満だった。まちなかから中部病院までなら利用者があった為、二子更木線は県立中部病院前までとしました。

Q3：黒沢尻2丁目から県立中部病院まで行く人がいないという話があったのにどうして週4日も運行されるのか？ 県立中部病院まで行く人がほとんどいないのであれば、二子更木線はまちなかまでとしてもいいのではないかと？

A3：緑色を幹線区間として示しています(二子地区バス路線一覧資料参照:黒沢尻2丁目～まちなか～県立中部病院間)が、細越住宅や黒沢尻2丁目など新しい住宅地が出来て、若い方からバス

の問い合わせが多くある地域です。それに対して週 4 日運行していたが、曜日によって時間が違うため、せっかくの路線がうまくつかわれていない。立花黒岩方面の方は済生会病院へ行くのに若干遠回りになるが、ロックタウンの前を回るルートで了承して頂いた。

石鳥谷線が 1 時間 1 本以上県立中部病院まで北上駅～まちなか運行している路線もある。ただ当初、中部病院が飯豊に移り、コミュニティバスがどこの地区からも 1 回乗車で行けるようにして欲しいという経緯があり、その部分は保ってほしいと県立中部病院までは幹線区間と現段階で設定しています。

これまでは県立中部病院まで直接つないで欲しいという意見がどこの地区からも強く残っていた。ただ実際は病院の利用は予約が 6 割となっており、利用に結びついていない状況。

これからの地域での検討において、県立中部病院まで行かず、まちなかまでで充分という意見があれば意見に合わせそのような運行ルート変更も考えられる。

Q 4 : 築館の停留所を無くしてほしくないから来た。築館～村崎野駅前に行かなくてもいい、築館までは来てもらい～高屋～中島を回って欲しい。

A 4 : 1 区延びるごとに運行経費 190 円かかる。1 区延びるのに乗車人数 1 日 4 人増えないと採算が合わなくなる(まちなかでも一緒)。そこでこれを築館だけではなく、二子の地域全体でどのように考えるか?といったところだと思います。

運行経費や乗車する方での話し合いを二子地域の皆さんでどうするか?築館地区だけで増える分をまかなってほしいということではなく、もう少し乗りそうな可能性の人があるから、そこを頑張り二子地区全体で延ばしてもらうよう市役所に提案しようとなれば検討します。

ただ 4 月の運行という場合、28 日の公共交通会議に準備が整った状況で提案しないとイケない。警察側との確認、バス事業者側の意見をもらう必要となる。延びた距離を測り、経費がどのくらいかかるか、また市役所の方での財源と想定している力量をトータルで出さないといけない。

まず、二子地区でどうするか?を固まらないこ

とには市役所側でも動けない。

Q 5 : 距離の話ばかりしていますが、築館の延ばした分、県立中部病院まで行く人が少ないのだからその分の距離をなくせばいいのではないかと?

A 5 : 実際の利用はそうでしたが、皆さんの意見を聞いていると中部病院まで直接行ってくれという声がある。

Q 6 : 時間帯などの統計をしたというが、二子地区内のどの停留所で何人が乗り、どこで降りるか?といったものはないのか?たくさん乗車するところだけ通ったらいいのではないかと?

A 6 : 11 月の説明会ではその内容を示させて頂いています。まとめたものが今回の資料となります。立花黒岩地区と比較した場合、1 日の乗降実績 5 人、10 人以上というのが二子更木地区にはそういった地区が非常に少ない。

県立中部病院の利用はどうか?と意見交換で、県立中部病院までつながらなくていいよという意見は出なかった。

Q 7 : 村崎野駅で乗り換えして中部病院まで行っていますが、大型バスが運行しているけれども大型バスではなくマイクロバスでもいいのではないかと?

A 7 : 5 地区で説明していると感じる方がいるようですが、小さいバスになっても運転手は必要で劇的に運行経費は変わらない。また、新しい車両を購入する資金もない。自治体だけの話ではなく岩手県交通も厳しい。

Q 8 : 今月中に決まらなかった場合、次回はいつになるのですか?今は村崎野駅前まで行っているのだから、改善案からいけば延長になるのかもしれないが 実際は路線延長とはいえないのではないかと?

A 8 : 全体で 11 区強。改善案は 7 区で他の地区並みの距離です。築館に行けばその分延びるので、どういうルートを取るか?です。人がたくさん乗れば、もちろん距離が長くていいのが今回の考え方です。そこまで回して欲しいという場合には、

そこで乗りこみの方がどのくらいいるかを把握した上で、協議したいと思っています。

28日公共交通会議になります。そこまでに確認といった時、間に合うのか？というのが結論になります。警察や事業者とのやり取りもあるので、実際は2週間前にスケジュールを調整していくのが普通で、かなり難しい。

今回このままでいくとすると、運行に関しては1年間の契約になり、また1年後となります。

今回の案が築館に行かないルートになったとしても、その中で5割という目標が達成されれば1年後に築館の方もというルートに考えられるかと思えます。

築館を通せるかどうかというのが結論のところだと思えます。まず、ルートを聞き概算のキ口数を出します。人数の確認を二子地区全体で確認をしてもらう。同時進行で警察と事業者を確認してもらう。ただ今までそのような厳しいスケジュールで調整をしたことがないので、間に合うかどうかといったところは何とも言えない。

Q9：今回の改善提案のルートは試走してみたの結果ですか？

A9：11月の時点では試走していません。概算をみながらやってきました。11月に説明会をし、12月に日程調整と内容を5地区の自治協に相談した上で説明をさせて頂き大きな話が出なかった為、1月の第2週に審査をしてもらったのが今までの経緯です。

Q10：村崎野駅まで行かなくても、二子交流センターからもう少し1^キ程先まで行ってから曲がるというのがこちらの意見で、今までとそんなに変更されるわけじゃないと思う。皆さん、中部病院までほとんど行かないと言っているのだから、結論は賛成というわけにはいかない。どうしても中部病院まで運行し経費をかけないとダメなのですか？

A10：これは個人の1つの案でやっているわけではなく、当初からまちなかまでという案が出ていれば違ったが、これを5地区で説明しているのでこの案をすべて見直し、他の地区にも説明しないといけなくなる。

希望案の築館のところから産業道路を左に曲がり高屋のところを入って行くとルートですが、明日には距離と目標人数を出ます。そこで28日までにスケジュールなど可能かどうか？ということも北上市で確認をしてもらい、25日市から自治協に連絡をしてもらう。そこで目標人数になりそうなのであれば、改善方向で動くというのが最大限今の出来る範囲ではないかなと考えます。

Q11：前回、築館まで行く希望案で出したルートでなんとか検討して頂きたいとお話しました。今日はその距離や目標人数などの話を持ってくるのかと思っていた。

A11：お話を頂いた時点で、スケジュール的にかなり厳しいと話しました。21日までに二子地区全体としてルートと目標人数を協議結果持ってきて頂けるのであれば、間に合うかどうか分からないが調整しますとお話しました。

あくまで今回、それぞれの地区の運行をどうするかは、地区の皆さんでどうするか相談して頂き、このくらいまでならいいというのをみせて頂いた上で、地域のみなさんがどこまで通して欲しいというのを二子地区として示してください。というのが前回の話でした。築館まで延ばすルートに想定していたというのは、意識の疎意があった。

Q12：二子地区とすれば築館を通してもらった方が、全体的にレベルアップする。村崎野駅前には東和の路線バスがある。県立中部病院までは行く人が少ない。二子線とすれば築館まで延ばしてもらい、まちの中心部で打ち切るということでまとめてもらえればと思う。

A12：東和の路線バスは0.4人/日のため、来年度なくなる話もあります。

延ばして距離を短くし地域として成り立たせるというまではいいのですが、県立中部病院まで行くということで他の地区に説明しております。

1年くらいでここまで意見が変わるのか？といったところがあります。それにしても、コミュニティバスを全体でどうするか？といった話で、他の地区とのこれまでの協議もあります。最終案の時点で二子地区全体を成り立たせるだけでこう変えました、蓋を開けたらこうだったというわけ

にはいかない。だとすると、市役所の立場としてはもう一回他の地域に相談をしなくてはならない。

Q 1 3 : 中部病院まで行かなくなるのではなく、実際コミュニティバスを使っている人は行っていない。中部病院には他の路線バスを利用してもらえばいいのではないか。

A 1 3 : まちなかだけの利用は市役所で頑張ります。今回まちなかだけの利用に関しては、100円から150円に値上げします。その区間を週4日、同じ時間で利便性の向上を考えています。それが中部病院まで行かなくなるとそもそもの組み立てが違って来る。コミュニティバスの柱の部分だった。

地域の走っている実走距離と利用者人数を収支50%にしようと考えている。二子地区のカウントにしては、まちなかの部分は入っていない。北上市としては、まちなかを週4日に稼働を上げて収益を上げ、5割に満たない地域の部分に確保したいというのが狙いです。

考え方を大幅に変更したかたちでの経営プランを立て直すとすると、一からのスタートとなりすぐというのは難しいところだと思います。

築館をどのくらい経費がかかるかというところを調査し、この距離でこのくらいの目標人数になるからどうか？とあとは二子地区の地域の中でこのくらいであれば乗車するだろうといったところを確認してもらおう。今の段階で間に合うかどうかを一緒に確認してもらおうが、この状況ではギリギリのラインが今の現状かなと思います。

Q 1 4 : 損益計算は、どこからどこまでをカウントしているのですか？

A 1 4 : 昭和橋を入ってから、細越住宅から小鳥崎を抜けるまでの間の距離となります。

皆さんの地区からまちなかまでの距離をカウントしているのではなく、全体的に成り立っていくようにと考えています。更木地区も二子地区があるおかげとなります。

また、乗車人数についても二子から乗り、まちなかで用を足し二子で降車した場合には、二子で2カウントと数えています。

Q 1 5 : 築館停留所から病院へ行くためにコミュニティバスを使っている。行き帰りいつもバスを利用しているわけではなく、行きの中に合わない時はタクシーを使い 帰りはバスを利用している。築館から乗る人はたくさんいる。ここにも5、6人います。築館から乗る人は多くいて、上岡島から利用する人はほとんどみたことがないのに何故、築館をなくすのかを驚いている。往復タクシーは大変なのでコミュニティバスのある日を病院に行く日としている。皆さんもそうだと思う。

A 1 5 : 乗ったり、乗らなかつたりは当然のことと思います。岡島は二子地区を通るのに必然的に通らざるおえないところ。宿内や岡島も増え全体的に増やせる見込みがあれば、築館まで延ばそうとなる。バス利用可能性のある人を確認してもらえればと思う。

待ち時間の時間短縮され、往復使ってもらえるようにとか、コミュニティバスでどこの病院まで行けるかなどの広報などその辺も考えています。

Q 1 6 : 毎年1回見直しというのがあるのですか？

A 1 6 : これまでは何かあった時でした。ただ、外的要因が入って2年に1回やっていることになっています。これからは毎月1回交流センターに乗降実績を報告し、3カ月に1回にとか集まり、また地域の皆さんでも話をしてもらえたらと思います。

Q 1 7 : オの羽々からも乗る人はほとんどいないようですが、何曜日の何時にバスが来るとわかっている人は、ほとんどいないと思う。バス停の見直しが必要だと思う。

A 1 7 : その辺は5月や11月の説明会で、実際乗っている方に見やすい時刻表を提示してみても必要性を感じています。

Q 1 8 : ここに来た全員で、築館～中島とお願いすればいいのではないか？

A 1 8 : これまでは、中部病院までつないで欲しいと言えばつなぎました。増やすにあたってはその分の見合う人数が必要です。他の地区に関して

は5割を見通せるところのルートを来年してくださいと相談させて頂いています。

Q 1 9 : 2 8 日までに結論を出して申請しなくてはならないのですね。二子地区の皆が来て頼まれたということではだめか？

A 1 9 : 市の方で間に合うかどうかを帰って確認をします。その上で目標人数を出しますので、あとは二子地区で人数の確認をして頂き、その人数であれば大丈夫だなという確認を市役所に連絡手続きをお願いしたいと思います。

Q 2 0 : 予想なら大丈夫となるかもしれないが、実際乗らないかもしれない。「バスを使って病院へ行って欲しい」と頼んで返事をもらったところで、乗るかどうかわからない。

A 2 0 : 維持するためには、そういった声かけ活動がとても必要です。バスの必要な人の為には声をかけて頂き、コミュニティバスの継続のためにつながると思います。

Q 2 1 : 1年で変えるというのはいりえない。もう少し我慢してもらいたい。

A 2 1 : 3カ月に1回という割合で集まりを設けていく中、通ったからといって次の6、7月の集まりで5、6人だけではなく毎回たくさん的人数(本日のように)に集まって頂き、同じような状況を共有し皆さんと興味を持って頂きながら、皆で地域の足を守るために一緒に活動をしていただければと思います。

Q 2 2 : 先程、東和線がなくなるようなお話がありました。村崎野駅前から県立中部病院まで直接行く便はなくなりますか。なくなるとすると、築館からの利用率は増えると思うんです。

A 2 2 : 使っている人がいるのは把握していますが、確実にたくさん利用人数がいるかなければ村崎野駅から中部病院までのシャトルバスの利用実績も確認しており、そう増えるわけではないと思う。事業者もあまりにも乗降実績が低いので、見直しがかかってしまうのかと思います。



-最後の確認事項-

市役所側：25日午前中に自治協へ連絡。

- ・産業道路を回るルート変更が時間的に可能かどうか？
- ・目標人数がどれだけになるか？